資料別紙１

市川市と船橋市の令和６年度決算の比較

項目	解説	市川市	船橋市
下水道普及率	総人口のうち、下水道が整備されて利用できる状態の地域に住んでいる人の割合。	80.2%	92.2%
水洗化率（接続率）	下水道が整備されているエリアに住んでいる人のうち、実際に接続している人の割合。	90.8%	94.5%
使用料単価 （1㎥あたりの下水道使用料）	使用料単価＜汚水処理原価となると、1㎥処理するごとに赤字が発生する。	143.74円	140.91円
汚水処理原価 （1㎥の汚水を処理するための費用）		150.6円	150.0円
経費回収率	汚水処理に係る費用を下水道使用料でどの程度まかなえているか。	95.4%	93.9%
経費回収率 （分流式下水道に要する経費控除前）	公費に依存していると、上段の経費回収率より低い値になる。	95.4%	87.8%
経常収支比率	使用料や一般会計繰入金で、維持費や利息をどの程度まかなえているか。 100％超は純利益。	97.9%	106.8%
一般家庭使用料 （1カ月20㎥あたり）	20㎥使用した場合の下水道使用料月額	2,634円	2,211円
1人あたりの一般会計繰入金負担額 （一般会計繰入金/人口）	市川市：17億900万円/49万9,383人 船橋市：64億4,400万円/64万8,594人	3,422円	9,935円